

1 基本項目	事務事業名	音楽のまちづくり推進事業		担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課			
	予算事業名	2. 音楽のまちづくり推進事業			係名	文化係			
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1045				
	事業期間	開始年度	平成14年	終了年度	当面継続	予會計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち				科目	款	教育費
		政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興					項	社会教育費
		施策名	33 文化の振興					目	学びの森天神山交流館費
基本事業名		33-1 芸術文化活動の推進				アウトソーシング導入状況 導入済(業務委託)			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	魚津市を「音楽を愛する街」とするため、「おんがく広場@Senzoku魚津」への事業委託により、各種音楽事業を実施し、市民が音楽に気軽に親しめる環境を作り、当市の音楽文化の振興を図る。 また、とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	対象	市民、市内小中学生・保育園児・幼稚園児
	手段(活動指標)	「おんがく広場@Senzoku魚津」に事業を委託。公的施設での出前コンサート、保育園・幼稚園でのコンサート、小中学生に音楽指導とコンサートを行う。とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援する。
	意図(成果指標)	市民に対し、身近に音楽を親しめる環境を作り出すことで、活気と潤いをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業数	件	40	39	40	31	77.5%	40
	② 事業支援数	件	3	2	3	2	66.7%	2
	③							
成果指標	① 音楽事業参加者数	人	1,400	2,063	2,000	3,982	199.1%	3,000
	② 芸術文化に触れる機会が多いと思う市民の割合	%	25.0	29.8	26.0	32.5	125.0%	30.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	30,000	30,000	30,000	24,675	-17.8%	30,000
	② 委託料	円	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000	0.0%	2,200,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	600,000	500,000	538,440	500,000	0.0%	600,000
	⑤ その他	円	7,000		7,000			7,000
	支出合計(A)	円	2,837,000	2,730,000	2,775,440	2,724,675	-0.2%	2,837,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円			40,000	27,000		80,000
	⑤ 一般財源	円	52,002,000	51,951,561	2,735,440	2,697,675	-94.8%	2,757,000
	収入合計	円	52,002,000	51,951,561	2,775,440	2,724,675	-94.8%	2,837,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	120	400	120	400	0.0%	300
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	504,000	1,680,000	504,000	1,680,000	0.0%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	3,341,000	4,410,000	3,279,440	4,404,675	-0.1%	4,097,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○「おんがく広場@Senzoku魚津」へ事業委託し、各種音楽事業を実施した。 市民のためのクラシック講座「風たちぬ秋」を10月19日に、市民のための出前コンサートを12月7日・3月22日に実施した。 幼児・小中学生など若い世代のためのコンサートを幼稚園・小学校で、小中学生のための合奏・合唱指導を市内小・中学校で行った。 ○とやま室内楽フェスティバルや学びの森音楽祭を支援した。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	C	C	自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり
目的の妥当性					1 妥当である	魚津市を「音楽を愛する街」とする目的に沿った事業であり、その手段としては妥当である。
対象の妥当性					1 妥当である	魚津市を「音楽を愛する街」とするために、市民や小中学生を対象とした事業である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	中学生の吹奏楽指導について、一定の成果が見られた。
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	小中学校でのアウトリーチなどは、他の事務事業でも類似したものがある。
				上位施策への貢献度	2 普通	市民・小中学生が音楽などの優れた芸術に触れる機会となっている。
効率性	効率性	B	C	コスト効率	2 普通	大部分が委託事業のため、コスト効率を上げるためには、委託内容を見直す必要がある。
				実施主体の適正化	1 適正である	大部分の事業を委託事業として行っている。
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	事業委託している音楽コーディネーターの積算根拠を明確にする必要がある。
	1次評価(課長総括)	B	C	事業の進め方・内容について見直しが必要	2次評価	不要
	後の方針(評価結果)	小学生から音楽に親しむ機会を作ることで、情操教育にも効果が上がってきている。今後は一般市民のニーズを把握し、事業内容の見直しを図るとともに、事業の周知に取り組む必要がある。				評価結果

1 基本項目	事務事業名	新川文化ホール管理事業		担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課		
	予算事業名	新川文化ホール管理費			係名	文化係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	平成 6年		終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち		予会計	一般会計		
		政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興		款	教育費		
		施策名	33 文化の振興		項	社会教育費		
基本事業名		33-1 芸術文化活動の推進		目	新川文化ホール費			
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入済（指定管理者制度）			
				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	(公財) 富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を促し鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。	
	対象	市民、各種団体等	
	手段(活動指標)	(公財) 富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。	
	意図(成果指標)	施設利用者(市民・文化団体・アーティスト等)が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実する。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 利用件数	件	1,600	1,279	1,700	3,286	193.3%	1,700	
	② 利用料金	円	14,500,000	15,607,358	15,136,000	16,474,154	108.8%	15,136,000	
	③ 文化自主事業入場者数	人	50,100	52,322	50,200	41,710	83.1%	50,300	
	成果指標	① 展示ホール利用率	%	69	69	70	68	97.1%	71
		② 和室・会議室利用率	%	33	30	34	30	88.2%	35
		③ 文化祭、市美術展の施設利用者数(入場者数)	人	7,000	7,589	7,000	8,393	119.9%	7,000

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	81,100,000	81,100,000	76,895,000	76,895,000	-5.2%	76,895,000
	③ 工事請負費	円			9,300,000	6,492,960		
	④ 負担金補助及び交付金	円	3,113,000	3,112,200				
	⑤ その他	円						1,400,000
	支出合計(A)	円	84,213,000	84,212,200	86,195,000	83,387,960	-1.0%	78,295,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	156,000	175,886	420,000	424,332	141.3%	160,000
	⑤ 一般財源	円	84,057,000	84,036,314	85,775,000	82,963,628	-1.3%	78,135,000
	収入合計	円	84,213,000	84,212,200	86,195,000	83,387,960	-1.0%	78,295,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	900	500	360	500	0.0%	300
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,780,000	2,100,000	1,512,000	2,100,000	0.0%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	87,993,000	86,312,200	87,707,000	85,487,960	-1.0%	79,555,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき、指定管理者(公財)富山県文化振興財団へ指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。</p> <p>○魚津市民文化祭(10月25日、26日)、第54回魚津市美術展(11月1日～6日)を開催した。</p> <p>○常設展示室等空調改修工事、会議室等海側雨排水側溝改修工事、区画線設置工事を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	芸術文化の振興を図るための事業として妥当である。
対象の妥当性					1 妥当である	芸術文化の拠点として幅広く利用されている。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	展示ホール、和室・会議室利用率はおおむね維持している。
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	類似事業として新川学びの森天神山交流館運営事業がある。
				上位施策への貢献度	1 高い	文化団体はもちろんのこと、一般市民もコンサートや展示会で足を運んだり、芸術文化に親しむ場としての利用が高く貢献度は高い。
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	会議室、和室、展示ホールの利用促進に向けた努力が必要である。
				実施主体の適正化	1 適正である	指定管理者制度を実施しており、適正に実施されている。
				負担割合の適正化	1 適正である	県との共同施設であり、県と市の負担割合により管理されている。
	1次評価(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後の方針(評価結果)	市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者と協議していかなければならない。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業		担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	芸術文化振興事業		係名	文化係		
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1045		
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち		予会計	一般会計	
		政策名	11 豊かな心を育む文化とスポーツの振興		款	教育費	
		施策名	33 文化の振興		項	社会教育費	
基本事業名		33-1 芸術文化活動の推進		目	文化費		
根拠法令			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
			総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。文化団体の育成を図る。	
	対象	①市民、②市内文化団体（文化協会、市美協）、③市内小中学生	
	手段（活動指標）	国県等の補助事業を利用した公演を開催する。芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。	
意図（成果指標）	①市民の芸術文化に対する関心が高まる。自らの芸術活動の活性化が図られる。②会員の資質及び活動への参加意欲の向上。③小中学生が芸術文化に親しむようになる。		

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 国県等の補助事業開催数	件	5	5	5	4	80.0%	5
	② 中学校文化連盟事業	件	12	12	12	12	100.0%	12
	③							
	① 文化祭への参加人数	人	6,000	5,778	6,000	6,990	116.5%	6,000
	② 市美展出品数（一般、招待）	点	240	234	240	208	86.7%	240
	③ 市美展入場者数	人	1,900	1,811	1,900	1,403	73.8%	1,900

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	230,000	177,187	30,000	16,114	-90.9%	30,000
	② 委託料	円	60,000					
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	694,000	693,800	844,000	843,800	21.6%	692,000
	⑤ その他	円	500,000	323,147	50,000			50,000
	支出合計（A）	円	1,484,000	1,194,134	924,000	859,914	-28.0%	772,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円	28,000	28,844	28,000	26,783	-7.1%	26,000
	⑤ 一般財源	円	1,456,000	1,165,290	896,000	833,131	-28.5%	746,000
	収入合計	円	1,484,000	1,194,134	924,000	859,914	-28.0%	772,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	600	500	900	600	20.0%	300
	③ 人件費（②×@ 4,200 円）（B）	円	2,520,000	2,100,000	3,780,000	2,520,000	20.0%	1,260,000
	総費用（A+B）	円	4,004,000	3,294,134	4,704,000	3,379,914	2.6%	2,032,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○国県等の補助事業を利用した公演（文化芸術による子供の育成事業等）を開催した。また、国県等の補助事業について、学校、新川文化ホール、新川学びの森天神山交流館、公民館等に照会し要望があれば申請を行った。</p> <p>○芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。文化協会主催の「中西進講演会」、市美協主催の「第15回会員展」、富山国際現代美術展等を支援した。</p> <p>○文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。</p> <p>○JR魚津駅から棟方志功の油絵1点の寄贈を受け、新川文化ホールにて「棟方志功展」（会期：平成26年10月22日～11月30日）を開催した。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	芸術文化の振興を図るための事業として妥当である。
対象の妥当性					1 妥当である	市民や市内文化団体、小中学生を対象としており、妥当である。
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	市美展入場者数や出品数が少なくなったが、文化祭は維持しており、全体的に目標どおりである。
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	類似事業として新川文化ホール管理事業がある。
				上位施策への貢献度	1 高い	芸術文化の振興には、不可欠な事業であり、貢献度は高い。
効率性	効率性	B	C	コスト効率	2 普通	文化団体への補助金が主であり、コスト効率を上げるためには、団体との協議が必要となる。
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	文化団体の会員が高齢化・固定化しているため、幅広い年代による多様な文化活動の活性化を図っていく必要がある。
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	文化団体への補助金額が毎年固定の金額であり、事業内容により弾力ある補助金額を検討する必要がある。
1次評価（課長総括）	A	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
後の方針（評価結果）	幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。				評価結果	